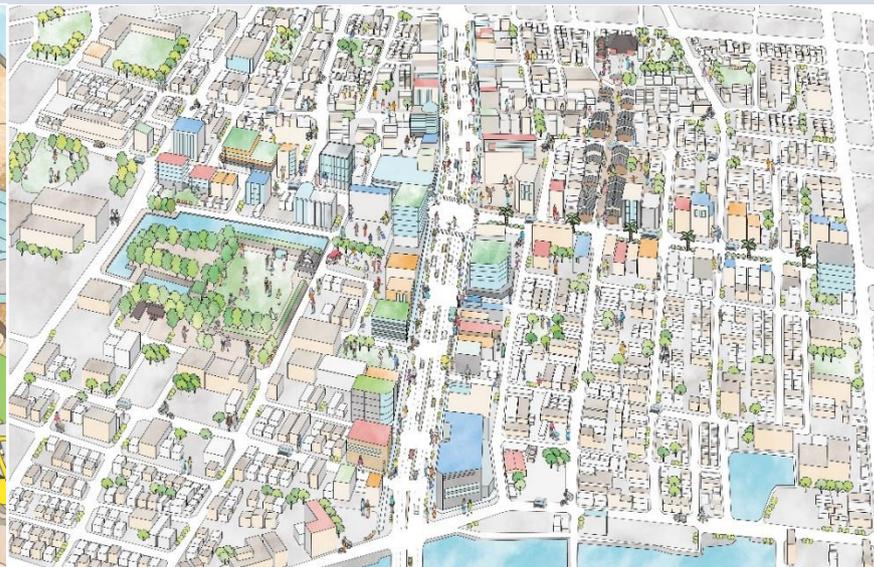


官民連携組織 エリアプラットフォーム 「大門・丸之内 未来のまちづくり」 によるまちづくり



津市について

津市は、面積は約710km²と広大(琵琶湖又はシンガポール一国と同程度の面積)で、都市機能と海・山・川の豊かな自然が共存する県都として平成18年に2市6町2村の合併により誕生しました。

三重県の中央部を横断するように位置し、中部圏と近畿圏の結節点となる地理的特性を活かし成長してきました。

平成18年1月1日 10市町村の合併により誕生

市制施行：1889年【明治22年】

市域面積：711.18km² (県域面積の約12%)

人口：266,237人 (令和7年11月1日現在)

世帯数：129,404世帯 (令和7年11月1日現在)



▲日本三観音の1つ「津観音」



▲津市民のソウルフード①「うなぎ」



▲津市民のソウルフード②
「はちみつまんじゅう」

交通アクセス



津IC



約1時間
約2時間

名古屋
大阪



津駅



約45分
約85分

名古屋
大阪



津なぎさまち
空港

約45分

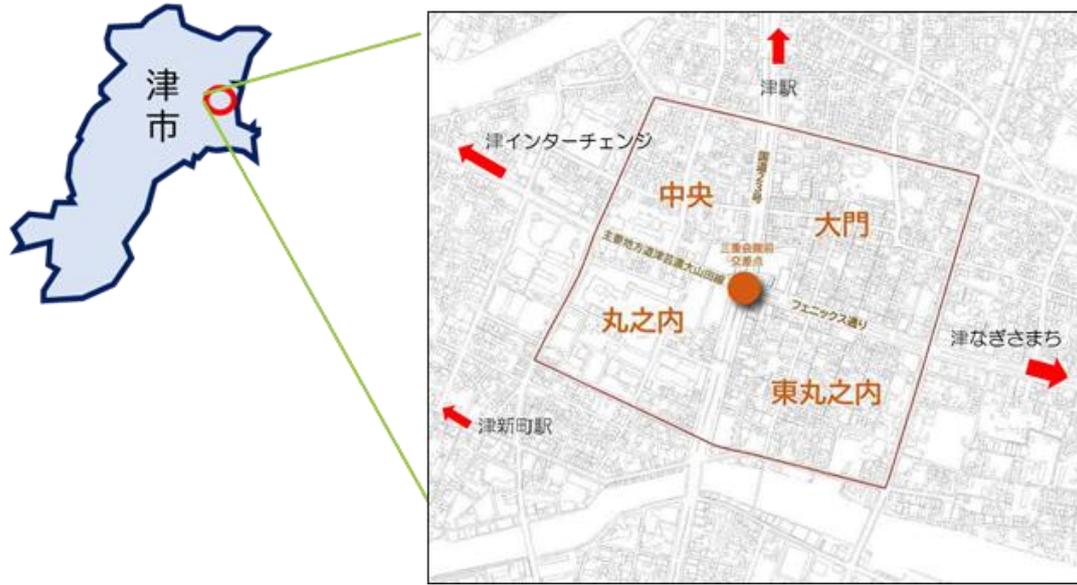
中部国際



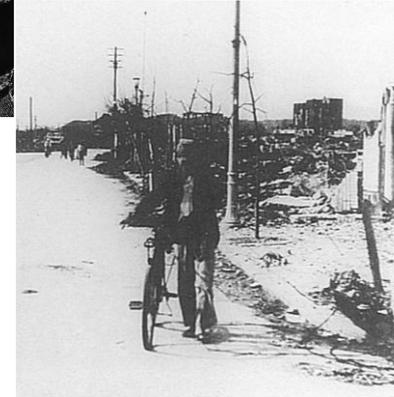
大門・丸之内地区について(来歴と課題)

大門・丸之内地区は、1608年に伊勢・伊賀の領主である藤堂高虎が、津城を近代城郭として改修して城下町を形成し、かつては、伊勢神宮へ向かう参宮客で賑わい、繁華街・歓楽街として発展してきました。

太平洋戦争において空襲を受け、一時は焼け野原となりましたが、戦後見事な復興を遂げ、市内外からの買い物客で賑わう商業のまちとして発展してきました。



< 空襲後の様子 >



< 昭和40年代～ >



▲立町通り商店街の賑わいの様子

課題: 中心市街地機能の衰退

モータリゼーションの進展や郊外型の大規模集客施設の立地等を背景に、徐々に衰退が始まり、地区内の大規模小売店の閉店が相次ぐなど、**商業機能の低下**が見られるようになりました。

市町村合併前の旧津市では平成11年に津市中心市街地活性化基本計画を策定し、まちづくり会社などにより、中心市街地活性化に向けた取組を展開してきましたが、**商業面から人の流れを呼び戻すには至りませんでした。**



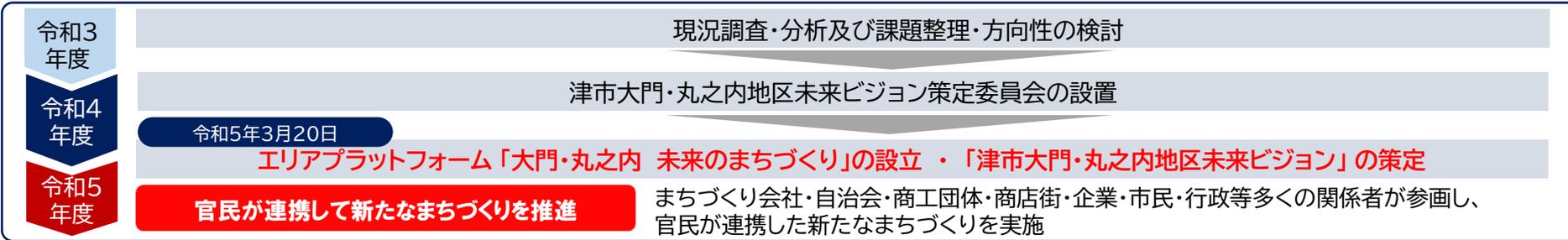
中心市街地の著しい空洞化

エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」

こういった課題を受け、大門・丸之内地区では、官民の関係者が地区の特性や課題を把握し、目指すべき将来像を共有するため、令和3年度に官民連携まちなか再生推進事業の採択を受け、地区の現状や課題を把握するための基礎調査の実施を行い、令和4年5月に地区内の関係者で構成する津市大門・丸之内地区未来ビジョン策定委員会を設置しました。

令和5年3月20日には、エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」が設立され、同日付けで「津市大門・丸之内地区未来ビジョン」が策定されました。

設立の経緯

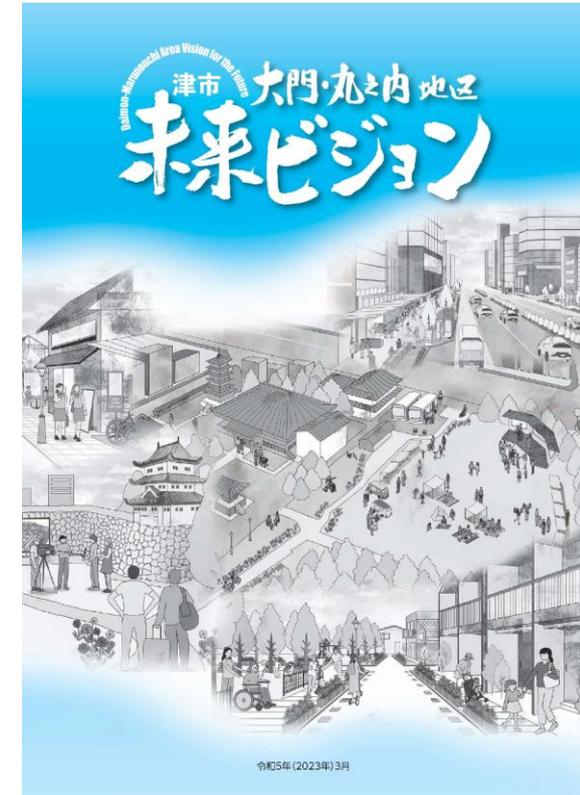
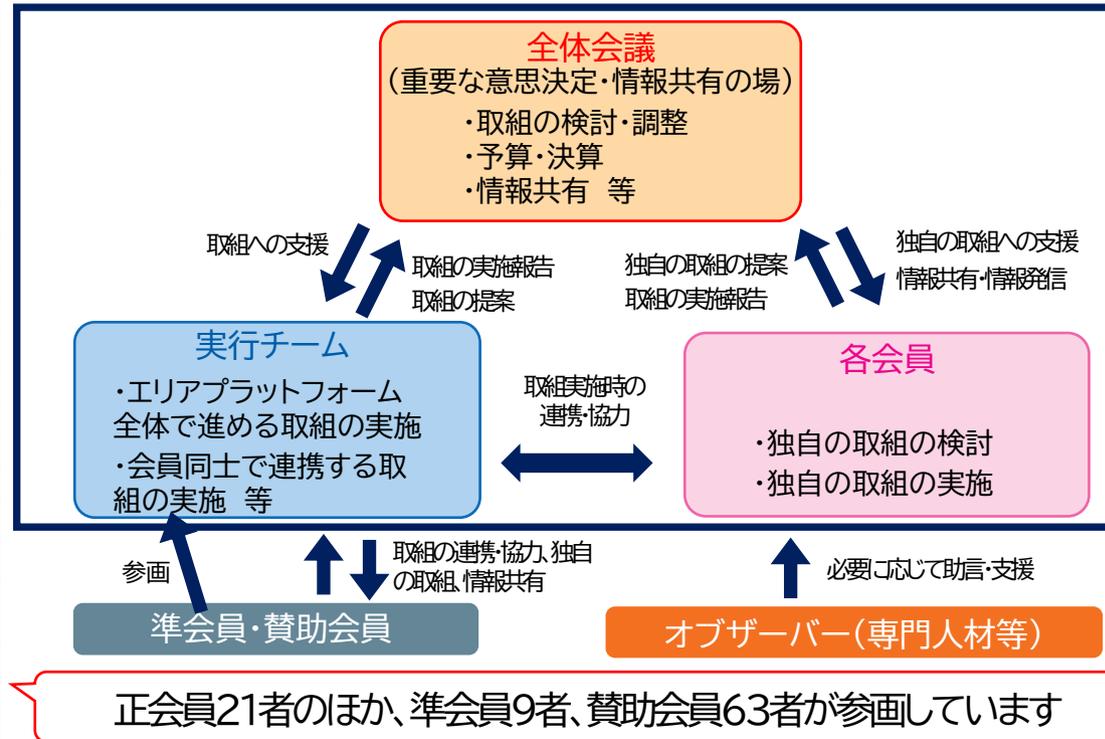


正会員

令和7年12月時点

まちづくり会社	株式会社まちづくり津夢時風
自治会	敬和地区自治会連合会 養正地区自治会連合会
商工団体	公益社団法人津青年会議所 津商工会議所
商店街	津市大門大通り商店街振興組合 津市大門商店街商業協同組合 丸之内商店街振興組合
企業	岡三証券株式会社 株式会社津センターパレス 株式会社津松菱 株式会社百五銀行 Hotel 津 Center Palace 三重交通株式会社 津エアポートライン株式会社
医療機関	津生協病院
市民参画者	市民参画者 2名
行政	国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所 三重県県土整備部 津市都市計画部 津市商工観光部

進め方

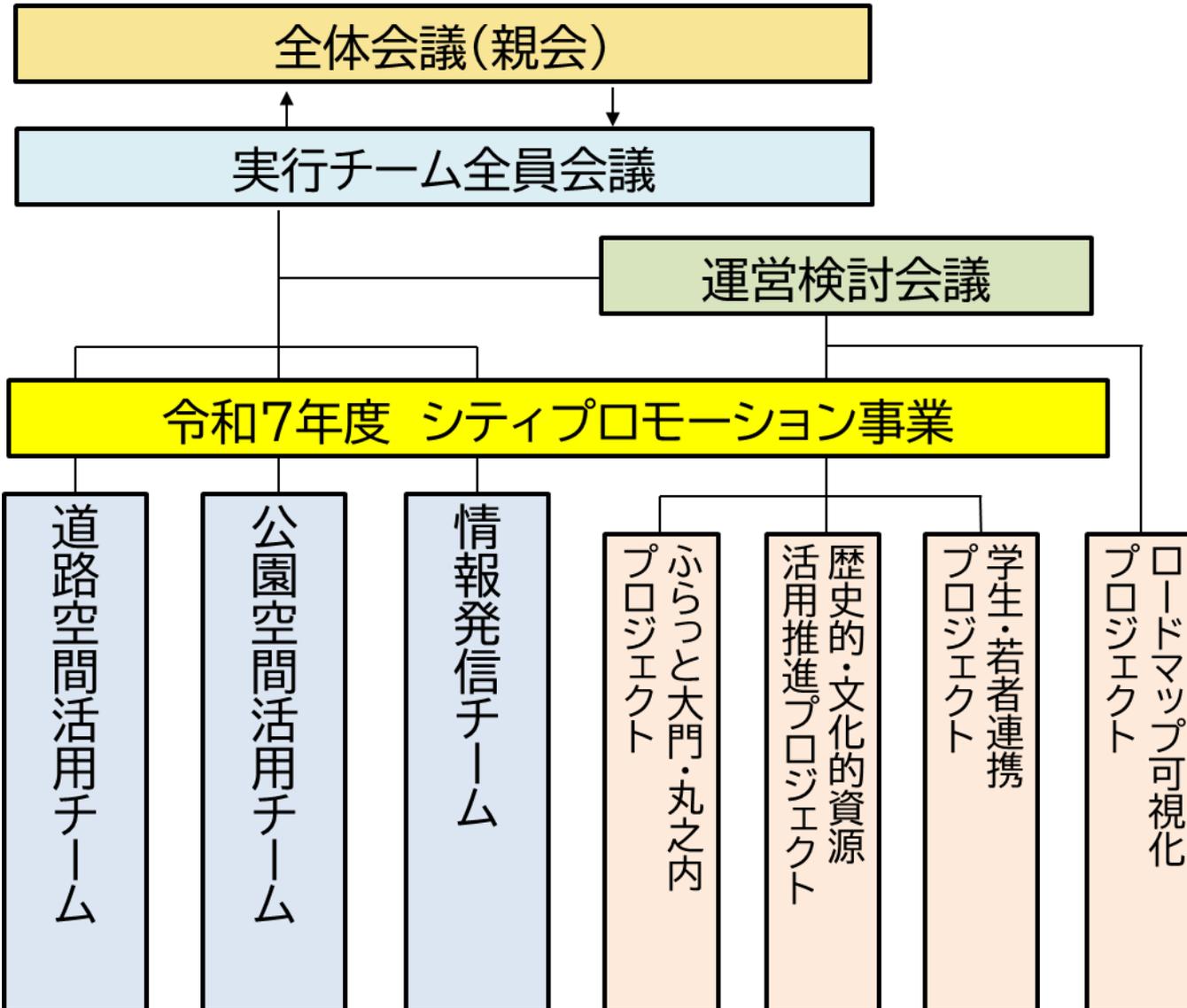


▲津市大門・丸之内地区未来ビジョン

エリアプラットフォームの事業実施体制

R7エリアプラットフォームの体系図

会員が各チームに分かれて活動



■全体会議

正会員の代表者を中心に、重要な意思決定及び情報共有等を行う場

■実行チーム全員会議

各チームメンバーが一同に介し、それぞれのチームの取組状況及び検討内容の報告等を行う場

■運営検討会議

会長・副会長・チームリーダー・サブリーダー等が集まり、チーム間の情報共有やエリアプラ全体の方向性等の検討を行う場

■各チーム及び各プロジェクトチームは月1回行う会議において、企画・立案を行い、実行までをチームで実施

エリアプラットフォームの実施事業

令和5年度

- 恒常的な賑わい創出を目的とした**道路空間活用実験**
- 地区内の公園や広場の**清掃・植栽活動**
- **公式SNSの開設**



▲道路空間活用実験



▲広場の植栽活動



▲公式SNS

令和6年度

- 来訪性・回遊性向上に向けた**シェアサイクル導入実験**
- 公園の利用促進及び民間活力導入可能性検証を目的とした**公園空間活用実験(@お城前公園)**
- 地区内の情報を発信するための**公式HP開設**



▲シェアサイクル導入実験



▲公園空間活用実験



▲公式HP

令和7年度

- 来訪性・回遊性向上に向けた地区内の名所・旧跡情報及び店舗情報を記載した**デジタルマップの作成**
- 公園が目的地となるかを検証することを目的とした**公園空間活用実験(@観音公園)**
- 大門大通り商店街道路の将来的な**道路整備イメージ図の作成**



▲デジタルマップの作成



▲公園空間活用実験



▲道路整備イメージ図



エリアプラットフォームが抱える課題・企業版ふるさと納税への期待

エリアプラットフォームが抱える課題

設立から3年間、市都市政策課が事務局として先導

しかし

今後はより民間主導によるまちづくりを進めることが重要

空き家・
空き地活用

民間投資促進

自由な
アイデア・企画

人材派遣型企業版ふるさと納税への期待

民間の組織風土に慣れ親しんだ民間企業からの派遣者が、民間主導に向けた企画・立案を担うことで、エリアプラットフォームの運営を民間主導・行政支援型へと段階的に移行していきたい

問い合わせ



津市都市計画部都市政策課
大門・丸之内まちづくり・新都心軸担当
(エリアプラットフォーム大門・丸之内未来のまちづくり事務局)
TEL :059-229-3183
FAX :059-229-3336
E-Mail:229-3177@city.tsu.lg.jp